

先輩の業務紹介カード



現役水産庁職員の仕事ぶりについて、
イメージを持っていただくのに役立てば幸いです！

令和3年9月

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 猪俣 安奈 (いのまた あんな) 2. 採用区分 : 一般職・水産

3. 現在の所属 :
水産庁増殖推進部漁場資源課総括班企画法令係員

4. 最終学歴、職歴 :
H26.3 北海道大学水産部海洋生物学科卒
H28.3 北海等大学水産科学院海洋生物資源科学専攻 修了
民間企業勤務 (H28.4~H29.5) を経て、
H30.1 水産庁増殖推進部研究指導課水産研究調査班 企画係
H30.10 水産庁増殖推進部漁場資源課沿岸資源班 漁海況係
R2.4 現職



5. 一番心に残った仕事 :

スマート水産業の取組を進めていくために、各地域に直接行き現地の水産関係の方々と意見交換をしたことです。漠然としたイメージだった水産業の課題が、直接話を聞くことで、地域ならではの具体的な課題を理解できました。現場のニーズを把握し、政策に反映するためには現場の多くの声を聞くことが重要だと感じました。

6. 先輩として一言 :

私は一度水産と関係のない民間企業に就職しましたが、働き方が合わなかったこと、大学時代に学んだ水産の知識を活かしたかったこと等から水産庁に転職しました。水産庁の仕事は多岐に渡り、時には大変なこともあります。職場の雰囲気もとてもよく、過ごしやすい職場だと感じています。

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 片山 誓花 (かたやま せいか) 2. 採用区分 : 一般職・水産

3. 現在の所属 :
水産庁瀬戸内海漁業調整事務所調整課調整係

4. 最終学歴、職歴 :
H27.3 北海道大学水産学部海洋資源科学科卒
H29.3 北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コース 修了
H29.4 水産庁増殖推進部研究指導課海洋技術室生産技術班 企画係
H30.6 現職 (H31.4~R3.3の間は、同課許可係)

5. 一番心に残った仕事 :

現職の仕事です。出先機関ということもあり、漁業者の方から現場の意見を直接聞かせていただける機会も多く、大変勉強になっています。

全国的に見ても、瀬戸内海は各府県の漁船が複雑に入り混じって操業している特殊な海域であり、大小様々な漁船が同じ漁場を利用しています。そのような中で、漁業者の皆さんが円滑に操業ができるよう漁業調整を行うことは簡単ではありませんが、その分非常にやりがいのある仕事だと感じています。

6. 先輩として一言 :

水産庁では国内から国外、生産から消費・流通まで幅広く扱っており、学生時代に学んでいたことや採用の区分等に関係なく、様々な仕事を経験できる職場だと思います。その分、幅広い知識が必要となり毎日が勉強の日々ですが、大変やりがいのある仕事です。一緒に仕事ができる日をお待ちしています！



入庁3年目に実施された当庁の漁村派遣研修にて

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 北岡 雅紀 (きたおか まさき) 2. 採用区分 : 一般職・水産

3. 現在の所属 :
水産庁漁政課広報班広報係員

4. 最終学歴、職歴 :
H27.3 北海道大学水産学部海洋生物学科 卒
H29.3 北海道大学大学院海洋生物資源科学専攻 修了
H29.10 境港漁業調整事務所資源課許可係
R2.4 現職



※水産庁公式ブログ
「佃煮エージェントK」

5. 一番心に残った仕事 :
現職の仕事です。広報班ではFacebook、Twitter、ブログ、テレビ出演など
様々な媒体で水産業、水産物、政策の広報を行っています。

なかなか他の仕事では仕事への反響を直接感じることはできませんが、広報班の仕事では目に見えて
感じ取ることができます。

厳しいご意見を受けることもありますが、ポジティブなご意見を頂くと、広報の発信方法や内容が間
違っていなかったのだと感じることができます。それが仕事のやりがいを感じることでできる瞬間です。

6. 先輩として一言 :

水産庁の仕事は多岐に渡り、様々な経験ができます。一から勉強しなければならないという大変さもあり
ますが、新鮮さもありやりがいへも繋がります。さらに、漁業調整事務所など地方へ異動することもあり、
そこでしか経験のできない貴重な時間を過ごすことができると思います。

また、広報班でなくてもFacebookやブログなどで発信できますので入庁した際は投稿お待ちしております。

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 野々下 健太 (ののした けんた) 2. 採用区分 : 一般職・水産

3. 現在の所属 : 水産庁資源管理部国際課東アジア班台湾係

4. 最終学歴、職歴 :
H31.3 宮崎大学農学部海洋生物環境学科 卒
H31.4 水産庁増殖推進部研究指導課海洋技術室資源増殖技術班企画係
R3.4 現職

5. 一番心に残った仕事 :
研究指導課では、漁船や定置網等の取得を支援する業務を担当していました。
予算規模が大きく、漁業者の注目度も高い事業で、日本全国津々浦々の漁業者
の方が事業を活用していたので、様々な漁業種類・経営形態等に触れることが
でき、非常に勉強になるいい経験だったと思います。

国際課に異動した現在、国内だけでなく、国外まで目を向けて考える・仕事
に取り組むというのは、業務の視点が大きく変わり、今後経験を積む中で、水
産業をより鮮明に捉えることができるだろうと感じています。

6. 先輩として一言 :

注目度が高く予算規模の大きい予算を入庁初年度から担当することとなり、入庁当初はかなり不安でした
が、先輩方にはよく声をかけていただき、職場の風通しも良く、充実した日々を過ごすことができました。

どのような職場に就職しても、最初は不安に感じることも多いと思いますが、気にかけてくれる先輩が
沢山いる水産庁は、経験の浅い若者にとって魅力的な職場だと思います。



先輩の業務紹介

1. 氏名 : 岩野 泰介 (いわの たいすけ) 2. 採用区分 : I種 (現: 総合職) 農学IV
3. 現在の所属 :
在フィジー大使館経済・開発協力班出向
4. 最終学歴、職歴 :
H23.3 東京大学農学部水圏生命科学専修 卒
H24.4 水産庁資源管理部漁業調整課指定漁業第1班
H26.10 水産庁瀬戸内海漁業調整事務所調整課調整係
H28.9 水産庁漁政部漁政課政策評価班
H30.12 水産庁漁政部企画課漁業労働班
H31.4 ~現職
5. 一番心に残った仕事 :
漁業の現場に行く仕事はどれも心に残るもので、選びがたいのですが、現在は太平洋島嶼国のODAを担当しており、漁業を直接の食糧供給と生計の手段となっている村の様子を見に行き、海の恵みの大きさ、大切さを改めて実感しているところです。
6. 先輩として一言 :
デスクワーク、海や港への出張、時には海外の漁業に触れることもあり、水産庁だからこそ接することができる貴重な経験を積み上げて、キャリアアップすることができます。是非皆様の力を水産庁で発揮していただければと思います。



ODAで建設した学校の引渡式典にて

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 細田 ゆりえ (ほそだ ゆりえ) 2. 採用区分 : 総合職 (農業科学・水産)
3. 現在の所属 :
水産庁資源管理部国際課捕鯨室 小型鯨類係 係長
4. 最終学歴、職歴 :
東京海洋大学院海洋科学技術研究科 修了
H29.4 水産庁資源管理部漁業調整課指定漁業第4班
近海かつお・まぐろ係 係員
H31.4 水産庁資源管理部国際課捕鯨室
小型鯨類係 係員
R3.4 現職
5. 一番心に残った仕事 :
普段の業務を通して、近年話題に上がっているサステナビリティや、環境保護と資源管理の両立はどうあるべきか改めて考えるようになりました。
6. 先輩として一言 :
水産庁の業務分野は非常に幅広く、国内の水産業における調整だけでなく、世界各国との調整も関係してきます。国民への水産物の安定供給の確保や水産業の健全な発展に関わっていきたい方、そういった点に興味のある方をお待ちしております。



ケニア・ナイロビで行われた
国際捕鯨委員会 (IWC) の
科学委員会にて

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 三島 真理 (みしま まり) 2. 採用区分 : I種 (現: 総合職) 農学IV

3. 現在の所属 :
農林水産省 輸出・国際局 国際地域課 国際専門官

4. 最終学歴、職歴 :
H22.3 東京大学大学院新領域創成科学研究科
自然環境学専攻博士後期課程
H22.4 水産庁資源管理部国際課国際協定第1班
H24.10 大西洋まぐろ類保存国際委員会
(スペイン マドリード市)
H28.8 水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室
H30.5 水産庁漁政部加工流通課水産物貿易対策室
R1.11 水産庁資源管理部国際課国際専門官グループ
R2. 4~ 現職



出張で訪れたFAO本部から見たローマの景色

5. 一番心に残った仕事 :
ホバートへの初めての外国出張、スペインでの4年間の国際機関勤務、また、水産物に限らず幅広い食品に関わるという意味で現職での日本の農林水産物・食品の輸出関係の仕事が特に心に残っています。

6. 先輩として一言 :
水産庁において非常に多くの国際関係業務があるということは、自分自身入省するまで知りませんでした。水産庁は国際的な仕事に関心がある方にとってもやりがいのある職場だと思います。

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 丸茂 亮太 (まるも りょうた) 2. 採用区分 : 総合職 (農業科学・水産)

3. 現在の所属 : 尾鷲市水産農林課 調整監

4. 最終学歴、職歴 :
H26.3 北海道大学水産学部海洋生物学科 卒
H27.4 水産庁漁政部企画課動向分析班 分析係
H30.6 消費安全局畜水産安全管理課水産防疫班 国際防疫係
R1.4 同上 企画調査係長
R2.4 水産庁漁政部漁政課総括班 企画法令係長
R3.4 現職



尾鷲市での定置網漁

5. 一番心に残った仕事 :
現職の尾鷲市役所です。市の管理職になったことで、現場作業から政策立案、関係者間の調整、議会対応等、業務の幅が格段に広がりました。良くも悪くも公私の境目が薄く、直接、市民の方や議員に加え、小規模生産者から企業の社長、県や漁協等の様々な関係者と日常的に接します。様々な関係者と接する中で、仕事というのは、あらゆる場所で有機的に結びついていることを実感しています。

6. 先輩として一言 :
水産庁の仕事は生産から加工・流通、消費に至るうえ、国内から国際関係まで多岐に渡ります。また、庁内外問わず短いスパンで異動をするので様々な分野を経験します。そういった経験も含め様々な要素を土台に水産業全体を俯瞰し、我が国の持続的発展のために施策を立てるといった仕事は大変やりがいのあるものです。部署によっては勤務時間が長く肉体的も精神的にもハードで、他の仕事があったんじゃないかと後悔したときもありましたが、今では、水産庁で働けることを嬉しく思っています。

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 地道 弘貴 (じみち ひろたか) 2. 採用区分 : 総合職 (工学)

3. 現在の所属 :
国際協力機構 (JICA) 経済開発部 農業・農村開発第一グループ 第二チーム

4. 最終学歴、職歴 :
H26.3 東京海洋大学 海洋工学部 海洋電子機械工学科 卒
H26.4 水産庁 増殖推進部 研究指導課 海洋技術室 生産技術班 技術係
H28.10 島根県 農林水産部 水産課 漁業管理グループ 主任技師
H31.4 水産庁 資源管理部 管理調整課 指定漁業第2班 許可係長
R 3.4 現職



自宅にて在外事務所との
オンラインミーティング中

5. 一番心に残った仕事 :
漁業法の改正に伴う諸々の規則等の検討に携わったことです。日本の漁業は自主的な資源管理や漁獲物の価値を上げる鮮度の向上策など、現場レベルで様々な工夫がなされていますが、現在の日本の漁業の大枠を形作っているのは漁業法を始めとした諸制度になります。その漁業法が70年ぶりに抜本的に見直されたことで、これまでの日本の漁業形態に変革を与えていくと予想されます。

6. 先輩として一言 :
現在はJICAにおいて発展途上国に対する水産業の国際協力に関する仕事を行っていますが、これまでは漁業現場の技術に関する仕事や、国・県の漁業管理に関する仕事に携わってきました。水産業の世界を多様な視点から見ることが水産庁で働く一番の魅力ではないかと思います。一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています。

先輩の業務紹介

1. 氏名 : 植田 健太 (うえだ けんた) 2. 採用区分 : 総合職技術系 (農業科学・水産)

3. 現在の所属 :
水産庁資源管理部国際課海洋漁業資源管理班 管理係

4. 最終学歴、職歴 :
H30.3 東京大学農学部水圏生物科学専修 卒
R 2.3 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻 修了
R 2.4~ 現職

5. 一番心に残った仕事 :
現職では、まぐろはえ縄漁業の管理やまぐろ類の輸入等を担当しています。業務の内容は、国際機関とも関連するものである一方、国内の漁業者やまぐろ輸入業者への対応も行う等国内・国外の多岐に及びます。私の中では、漁業法改正に伴う水産改革の中で、国際資源の資源管理基本方針の策定に携われたことが最も印象的でした。

6. 先輩として一言 :
海や魚が好きといった人には楽しい職場だと思います。漁業に関する課題は多いですが、日々課題の解決方法を考えることで成長することができます。また、業務内容は多岐に渡るので、勉強することが多く、その内容は新鮮です。日本の水産業を良くしたいと考えている皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしております。



先輩の業務紹介

1. 氏名 : 飯岡 真子 (いいおか まこ) 2. 採用区分 : I種 (現:総合職) 農学IV

3. 現在の所属 :
水産庁資源管理部国際課 国際専門官 (国際協定第1班)

4. 最終学歴、職歴 :
H23.3 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 修了
H23.4 水産庁資源管理部遠洋課 海洋漁業資源管理班
H25.4 水産庁資源管理部国際課 企画班
H28.4 農林水産省消費安全局畜水産安全管理課
水産安全室
H30.4 産休・育休 (1年間)
R1.5~ 現職



左。ミクロネシアで行われた国際会議にて。

5. 一番心に残った仕事 :

国際課企画班で関わった、中西部太平洋におけるカツオ・マグロの国際交渉が印象的でした。過酷なプレッシャーと怒涛の会議の展開の中で、我が国利益のために交渉を進める先輩方の熱意と負けん気は今でも鮮明に思い出すことができます。

6. 先輩として一言 :

水産に関する幅広い仕事を経験できるため、常に新しい発見があり、刺激に事欠かない職場です。出産してからは仕事と子育ての両立がなかなか大変ですが、制度が整っていることに加え、皆さん理解を示して融通を効かせてくれるので、そういう意味でも働きやすい職場だと思います。